

**業界トピックス****【製造業】**

- ・発注量が細かくなっている。【金属製品】
- ・円高により輸出企業の経営状況は思わしくなく、景気への影響が大きくなりつつある。当社のユーザーにも輸出企業が多くあり、受注状況は芳しくない。【紙製品】
- ・グローバル価格による受注価格の低下。【機械部品】
- ・仕事量がだんだん減少してきている。【印刷】
- ・販売単価が低下し、利益も薄い中の増税とその負担は中小企業にとってはとても厳しい状況。【金属製品】
- ・不況感が増している。【生産機械装置】
- ・仕事の受注が激減しており、不況感を強く感じる。まれに仕事が入っても経営状態が悪いので人を使えない。【金属加工】
- ・さらなる単価の引下げをしなければ受注が難しくなっている。【生産用機械器具】
- ・円高の為受注見込みが立たない。【制御システム装置】
- ・仕事量が減っており経営が難しい。景気が上向き感じもなく、事業継続について悩んでいる。【配管板金】

**【建設業】**

- ・受注減少。【リフォーム工事】
- ・大手メーカー、ゼネコンによる単価引下げ。【土木工事】
- ・見積りのみで、実際に受注につながるものが少ない。【左官工事】
- ・公共工事の減少。【塗装工事】
- ・今期に限らず、ここ数年公共工事発注の減少を感じる。【下水道工事】
- ・得意先からの受注が変化。【空調工事】

**【小売・卸売業】**

- ・消費者の買い渋り。【乳製品卸売】
- ・国内空洞化に伴い、販路が減少した上に少量の注文になり、売上、収益が悪化。【電子部品卸売】
- ・消費低迷。【自動車タイヤ小売】
- ・若年層の収入低下が長期に根付いた感があり、高額なものへの興味がなくなり、はんこの需要に影響があるものとする。ネットでの購買も影響が大きい。【印章小売】
- ・低所得層の増加による高単価商品購入の低下。【家電小売】
- ・仕入額が少しあがっているが、まずまず順調。【青果卸売】
- ・必要なものへの受注はあるが、それ以外の受注がない。また、発注数量が細かくなってきている。【文具小売】

**【飲食・サービス業】**

- ・不動産の売買が減少してきている。反面、相続、遺言手続きが増加傾向にある。【不動産登記、財産管理】
- ・多少の上下はあるも、売上、収益率ともに安定している。【不動産賃貸】
- ・国内市場全体の閉塞感、手詰まり感が前向きな経営を阻害している。【コンサルティング】
- ・取引先（顧客）の景気が心配。
- ・顧客の経営状況の悪化。【会計事務所】
- ・デフレ状況での増税。【不動産】
- ・個人消費の低迷。円高による輸出採算悪化による影響。【倉庫】
- ・仕事量が減少。不況感が強い。【建設機械修理】
- ・機械の修理依頼すら控えるようになった為、小口の売上すらほとんどない状態。【機械メンテナンス】
- ・個人消費の低迷。【飲食】
- ・外食の減少。【飲食】